感激の學兵に蹶起　　文人報國會でも出陣激勵大會[[1]](#footnote-1)

時特別志願兵の光に津々浦々はにえ沸つてゐるとき、朝文人報國會に在城十代表が自發に五日後二時に會合、半のをす『出學大會』を開するため人文瑞氏長とし大會開のについてした

十五日午後京城鍾路區中央基督教青年會館で文人報國會代表として香山光郎、張徳秀、松村紘一の三氏、雜誌社側代表として星野相河、天野道夫、崔載瑞の三氏の講演その他詩の朗読で、半島若人の滅敵の闘魂を熱□と燃え沸らすことを申し合わせ[、]これが實行委員崔載瑞、吉村香道、天野道夫の三氏を選び、大會開催準備事務の一切を委任して同三時半散会した

1. 1943年11月6日付『京城日報』朝刊 [↑](#footnote-ref-1)